

# 三菱UFJ 海外債券オープン

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2024年12月17日～2025年12月15日

第 26 期 決算日：2025年12月15日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、わが国を除く世界主要国の公社債への分散投資により、信託財産の長期的な成長をめざし、運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### 第26期末（2025年12月15日）

基準価額	29,912円
純資産総額	20,736百万円
騰落率	+8.6%
分配金合計 <sup>(*)</sup>	100円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(\*) 当期間の合計分配金額です。

閲覧・ダウンロード方法

<https://www.am.mufg.jp/>[ファンド検索] に  
ファンド名を入力各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード **MUFG** 三菱UFJアセットマネジメント東京都港区東新橋一丁目9番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。



## ファンドマネージャーのコメント

当期間の運用で主眼においたポイントをご説明させていただきます。

### 投資環境

米長期金利は米連邦準備制度理事会（F R B）の追加利下げ観測で低下、独長期金利は欧州中央銀行（E C B）の追加利下げへの慎重姿勢で上昇しました。

日本の利上げ後ろ倒し観測から、米ドル・ユーロは対円で上昇しました。

### 運用のポイント

債券デュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、金融政策の織り込み具合等を注視しコントロールしました。米国は当初ベンチマーク比短めとし、その後概ね長め、欧州は当初長めとし、その後概ね短めとしました。

欧州は、E C Bの金融政策などを背景に国別配分をコントロールしました。ドイツ・フランスは機動的にコントロール、スペイン・イタリアは多めから中立、ベルギー・オランダは中立から少なめとしました。

カントリーアロケーション戦略（通貨配分）では、景気の相対感等に着目し通貨配分をコントロールしました。米ドルは当初多めとし、その後概ね少なめ、ユーロは当初少なめとし、その後概ね多めとしました。

前記の運用を行った結果、ファンドの騰落率は、ベンチマーク（F T S E 世界国債イン

デックス（除く日本・円ベース）の騰落率（9.1%）を0.5%下回りました。メキシコペソをベンチマーク比多めとしていたことなどがプラスとなったものの、信託報酬など運用上の費用を計上したことなどがマイナス要因となりました。

### 運用環境見通しおよび今後の運用方針

当面の米独長期金利は、もみ合う展開が想定されます。

金利戦略においては、各国の景気動向に加え各種政策や市場動向を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。欧州では各国の財政状況や政策対応などを重視した銘柄選別に注力します。為替戦略においては、各国のファンダメンタルズ状況や投資家のリスク選好度を重視し、環境見通しの変化に対応して調整を行う方針です。



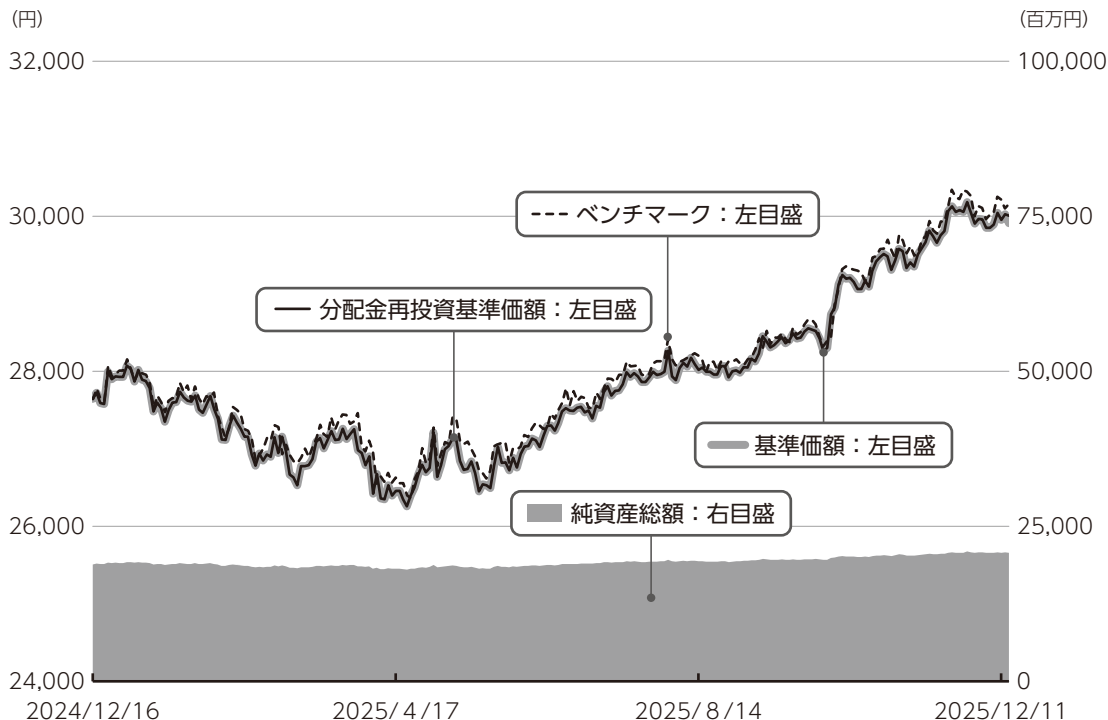
運用担当者  
船津 大輔

# 運用経過

第26期：2024年12月17日～2025年12月15日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第26期首	27,645円
第26期末	29,912円
既払分配金	100円
騰落率	8.6%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は期間の初めに比べ8.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

**ベンチマークとの差異**

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（9.1%）を0.5%下回りました。

**基準価額の主な変動要因****上昇要因**

ユーロが対円で上昇したことや債券利子収入を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

※ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、F T S E 世界国債インデックス（除く日本・円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2024年12月17日～2025年12月15日

## 1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	306	1.097	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(153)	(0.549)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(138)	(0.494)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 15)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(先物・オプション)	( 0)	(0.001)	
(c) その他費用	4	0.015	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 3)	(0.011)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 1)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	( 0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	310	1.113	

期中の平均基準価額は、27,869円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

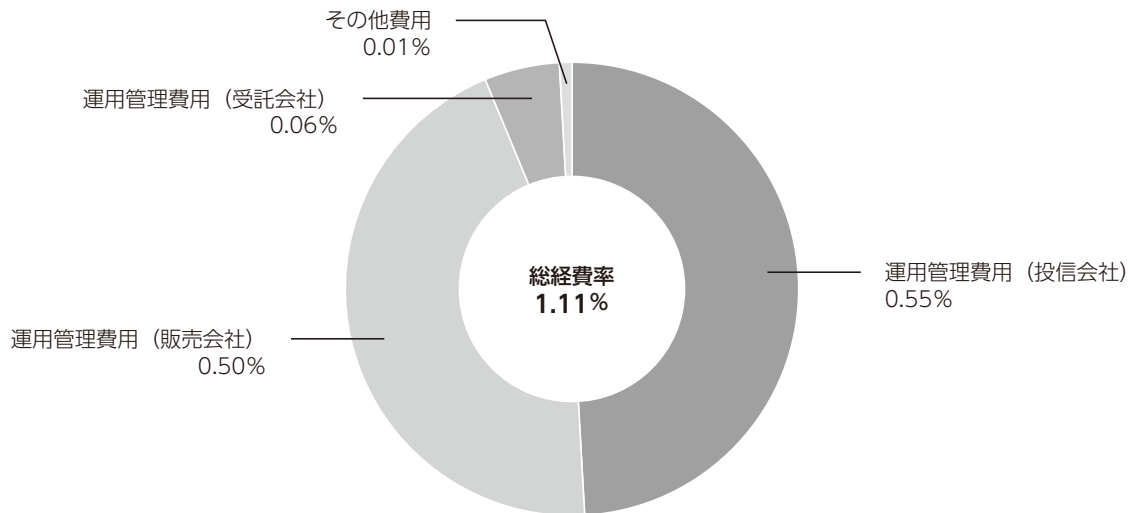
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.11%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

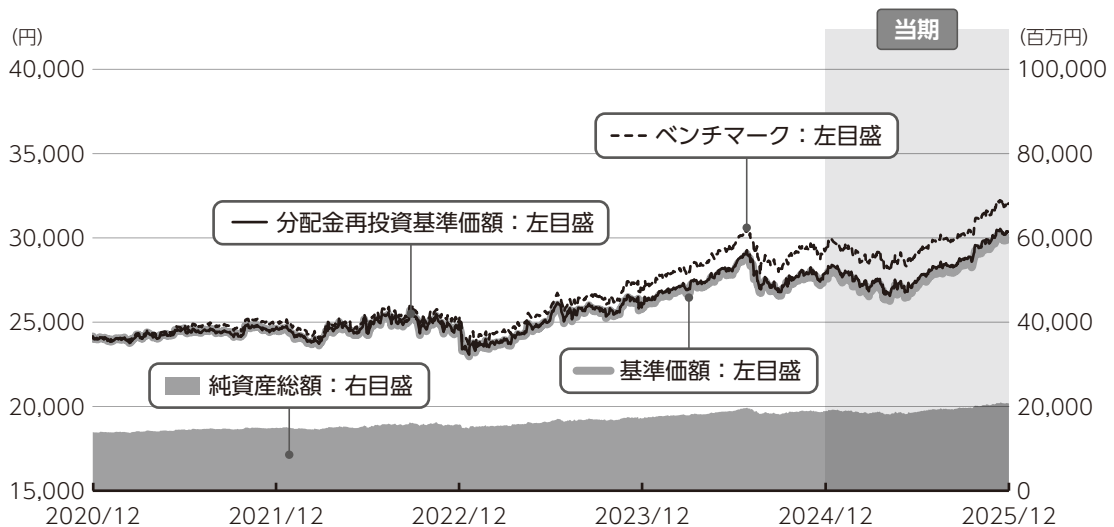
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2020年12月15日～2025年12月15日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2020年12月15日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。  
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2020/12/15 期初	2021/12/15 決算日	2022/12/15 決算日	2023/12/15 決算日	2024/12/16 決算日	2025/12/15 決算日
基準価額 (円)	24,148	24,514	24,504	25,906	27,645	29,912
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	100	0	100	100	100
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	1.9	-0.0	6.1	7.1	8.6
ベンチマーク騰落率 (%)	—	3.6	-0.2	7.8	9.1	9.1
純資産総額 (百万円)	13,893	14,870	15,658	17,208	18,896	20,736

※ファンド年間騰落率は、ベンチマーク年間騰落率と比較するため、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

ベンチマークは、F T S E 世界国債インデックス (除く日本・円ベース) です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第26期：2024年12月17日～2025年12月15日

## 投資環境について

### ▶ 海外債券市況 米長期金利は低下、独長期金利は上昇しました。

2024年12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）後のパウエル議長の記者会見で、今後の利下げに対する慎重なスタンスが示されたことなどから、米国長期金利は上昇して始まりました。その後、米国の相互関税賦課によってグローバル経済の減速懸念が高まったことや、米連邦準備制度理事会（FRB）主要メンバーが追加利下げを支持したことなどから、米国長期金利は低下しました。独長

期金利は、サービス業を中心に欧州経済が堅調に推移していることなどから、複数の欧州中央銀行（ECB）高官が今後の利下げに慎重な姿勢を示したことなどを背景に、上昇しました。

### ▶ 為替市況 米ドル、ユーロは対円で上昇しました。

日本で緩和的な金融政策を志向しているとみられている自民党の高市氏が首相に就任し、日銀による利上げ時期の後ろ倒しが意識されたことなどを背景に、米ドル、ユーロは対円で上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 三菱UFJ 海外債券オープン

三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を通じて、わが国を除く世界主要国の公社債に投資をしています。債券の実質組入比率は、運用の基本方針にしたがい高位を維持しました。

### ▶ 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

中長期的にベンチマークを上回る投資成果を目指します。  
わが国を除く世界主要国の公社債を主要

投資対象とし、ベンチマークを中長期的に上回る投資成果をめざして運用を行いました。期間を通じて債券の組入比率は高位を維持しました。

債券デュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、金融政策の織り込み具合等を注視しコントロールしました。

米国の債券デュレーションは期間の初めから2025年3月下旬まではベンチマーク比短めとし、その後は同中立から長めでコントロールしました。欧州の債券デュレーションは期間の初めから2025年4月

上旬までは同長めとし、その後は概ね同短めとしました。

欧州においては、欧州中央銀行（ECB）の金融政策などを背景に国別配分をコントロールしました。

ドイツは、期間の初めから2025年4月上旬まではベンチマーク比アンダーウェイトとし、2025年5月の中旬まで同中立からオーバーウェイトでコントロールし、その後は同アンダーウェイトから中立でコントロールしました。スペインは、期間を通じて概ね同オーバーウェイトとしました。イタリアは、期間の初めから2025年5月中旬まで同オーバーウェイトとし、その後は同中立としました。ベルギー、オランダは、期間を通じて同中立からアンダーウェイトでコントロールしました。フランスは期間を通じて機動的

にコントロールしました。

カンントリーアロケーション戦略（通貨配分）では、景気の相対感等に着目し通貨配分をコントロールしました。

米ドルは期間の初めから2025年4月上旬までベンチマーク比オーバーウェイトとし、その後は同アンダーウェイトから中立でコントロールしました。ユーロは期間の初めから2025年4月上旬まで同アンダーウェイトとし、その後は概ね同オーバーウェイトとしました。ポーランドズロチ・ノルウェークローネ・スウェーデンクローネ・メキシコペソ・マレーシアリングットは同オーバーウェイトから中立でコントロールしました。期間を通じて中国元は同アンダーウェイトで維持しました。豪ドル・カナダドル・英ポンドは機動的にコントロールしました。

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

### ▶ 三菱UFJ 海外債券オープン

ファンドの騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）の騰落率（9.1%）を0.5%下回りました。

#### マザーファンド保有以外の要因

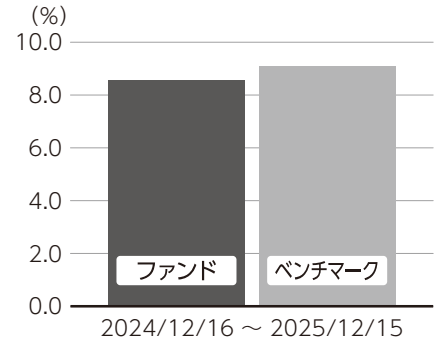
信託報酬等の費用がマイナスに影響しました。

#### マザーファンド保有による要因

##### プラス要因

メキシコペソを2025年4月上旬以降ベンチマーク比オーバーウェイトとしていたことなどがプラス要因となりました。

### 基準価額（ベビーファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

## ▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第26期 2024年12月17日～2025年12月15日
当期分配金（対基準価額比率）	100 (0.333%)
当期の収益	100
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	23,173

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

### ▶ 三菱UFJ 海外債券オープン

三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

### ▶ 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

金利戦略においては、各国の景気動向に加え、財政政策・金融政策を含む各種政策や市場の内部要因が長期金利へ与える影響を考慮し、デュレーションなどのコ

ントロールを行います。その中で、欧州では各国の財政状況や政策対応などを重視した銘柄選別に注力します。また、カントリーアロケーション戦略においては、各国のファンダメンタルズ状況や投資家のリスク選好度を重視し、環境見通しの変化に対応して調整を行う方針です。債券の組入比率は高位を維持し、信用力の高い国債中心の組み入れを維持する方針です。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日)

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

## ▶ その他

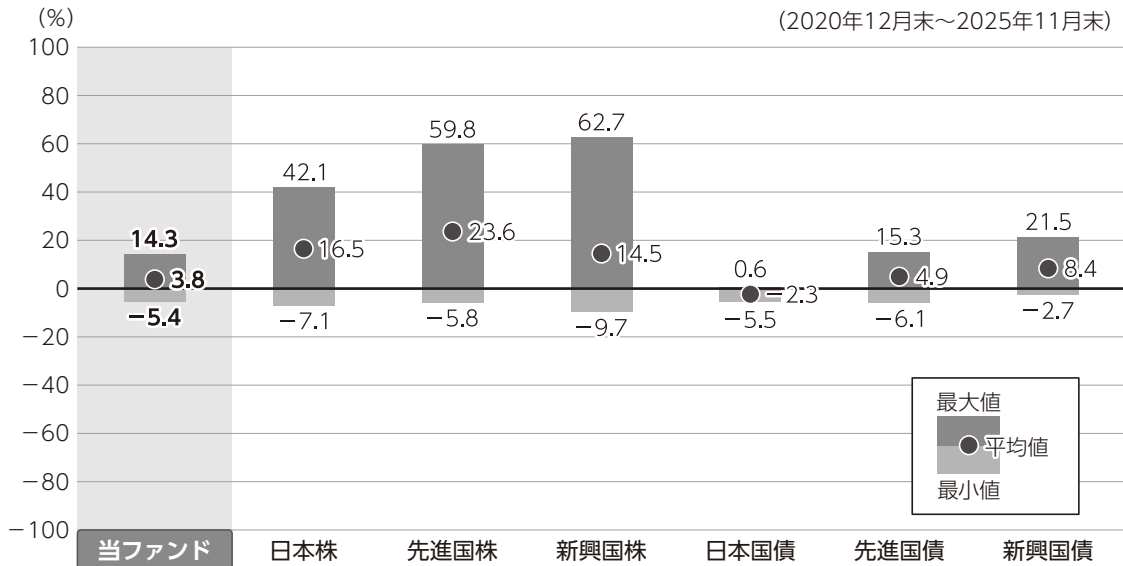
- ・該当事項はありません。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（2000年8月11日設定）
運用方針	三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、わが国を除く世界主要国の公社債への分散投資により、信託財産の長期的な成長をめざします。（ファンドにおいてわが国を除く世界主要国の公社債とは、国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債（複数国が協調して設立した国際的な組織が発行する債券）、社債等を指します。）実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。
主要投資対象	<p>■当ファンド 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</p> <p>■三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド わが国を除く世界主要国の公社債（国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債、社債等）を主要投資対象とします。</p>
運用方法	わが国を除く世界主要国の公社債を実質的な主要投資対象とし、分散投資を行うことにより、長期的な収益の獲得をめざします。
分配方針	毎年1回決算（原則として12月15日。ただし、12月15日が休業日の場合は翌営業日とします。）を行い、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。原則として、配当等収益の水準を考慮して分配しますが、信託財産の成長を優先し、分配を抑制する場合があります。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2020年12月から2025年11月の5年間ににおける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversifaid

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2025年12月15日現在

## 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第26期末 2025年12月15日
三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	99.8%

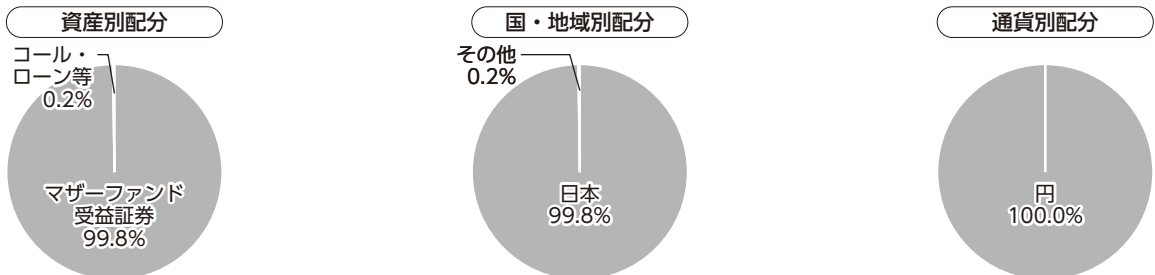
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

### 純資産等

項目	第26期末 2025年12月15日
純資産総額 (円)	20,736,651,106
受益権口数 (口)	6,932,550,438
1万口当たり基準価額 (円)	29,912

※当期中において追加設定元本は1,105,283,993円  
同解約元本は 1,008,138,731円です。

### 種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

591401

2025年12月15日現在

## 組入上位ファンドの概要

## 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

## 基準価額の推移

2024年12月16日～2025年12月15日



## 1万口当たりの費用明細

2024年12月17日～2025年12月15日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0	0.001 (0.001)
(b) その他費用 (保管費用)	4	0.011 (0.011)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	4	0.012

期中の平均基準価額は、40,091円です。

※項目の概要については、運用報告書（全体版）をご参照ください。

## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：73銘柄)

順位	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	0.8 SPAIN GOVT 290730	債券	スペイン	国債	4.0
2	2.7 O.A.T 310225	債券	フランス	国債	4.0
3	7.5 MEXICAN BONOS 330526	債券	メキシコ	国債	3.4
4	3.65 ITALY GOVT 350801	債券	イタリア	国債	3.0
5	3 T-BOND 441115	債券	アメリカ	国債	2.9
6	4.4 ITALY GOVT 330501	債券	イタリア	国債	2.9
7	5.5 G2 MB036 5505 MB0366	債券	アメリカ	特殊債	2.7
8	0.875 IBRD 300514	債券	国際機関	特殊債	2.7
9	2.75 O.A.T 300225	債券	フランス	国債	2.7
10	5.5 G2 MB030 5504 MB0308	債券	アメリカ	特殊債	2.7

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

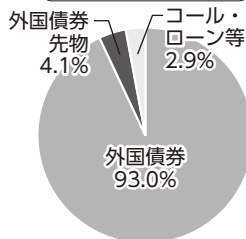
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用

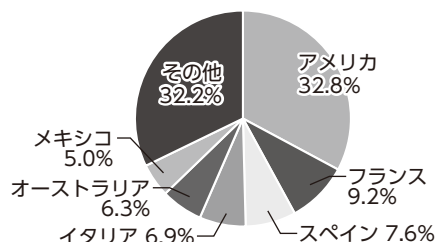
報告書（全体版）をご覧ください。

## 種別構成等

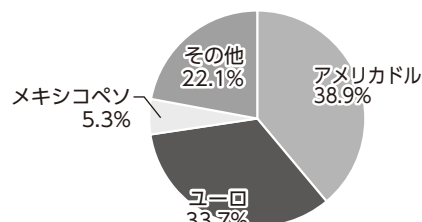
## 資産別配分



## 国・地域別配分



## 通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ ファンドのベンチマークである『FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）』について

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ● 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

### ● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● NOMURA-BPI（国債）

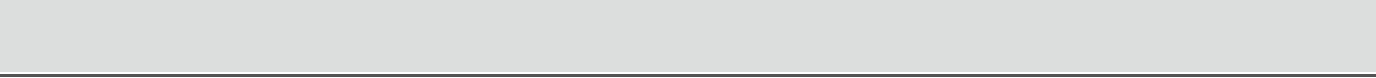
NOMURA-BPI（国債）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ● JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。





三菱UFJアセットマネジメント